



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月10日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東
 コード番号 5018 URL <http://www.moresco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤田 民生
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 宮川 弘和 TEL 078-303-9010
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	6,439	21.0	473	22.1	535	2.6	310	△6.4
26年2月期第1四半期	5,321	6.5	388	24.5	521	41.3	331	44.2

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 311百万円 (△49.5%) 26年2月期第1四半期 615百万円 (70.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	32.07	—
26年2月期第1四半期	38.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第1四半期	21,140	11,320	48.4	1,057.80
26年2月期	19,657	11,187	51.7	1,050.34

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 10,226百万円 26年2月期 10,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	12.50	—	17.50	30.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,300	20.4	950	24.5	1,100	22.6	600	11.9	62.06
通期	27,300	15.1	2,100	15.5	2,400	19.3	1,350	11.4	139.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）天津莫莱斯柯科技有限公司、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期1Q	9,668,000株	26年2月期	9,668,000株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	578株	26年2月期	578株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期1Q	9,667,422株	26年2月期1Q	8,517,498株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、

【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

平成26年7月18日に、当社ホームページに掲載する予定です。

※ 金額単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間および当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
(1) 製品およびサービスに関する情報	8
(2) 海外売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が継続しながらも、消費税率引き上げにともなう駆け込み需要と、その反動による影響が見られました。また、海外では、米国の個人消費が安定的に推移しておりますが、中国や東南アジア諸国をはじめとする新興国の成長率鈍化などにより、先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、昨年度に日華化学㈱から譲り受けたダイカスト用油剤、熱間鍛造潤滑剤事業の売上高が増加した他、インドネシアでは紙おむつ用ホットメルト接着剤の生産が順調に拡大し、売上高増に貢献しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,439百万円（前年同期比21.0%増）となり、経常利益は535百万円（前年同期比2.6%増）、四半期純利益は310百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

①日本

（特殊潤滑油）

自動車メーカーおよび自動車部品メーカーを主たる顧客とする特殊潤滑油では、消費税率の引き上げにともなう需要減はあったものの、日華化学㈱から譲り受けたダイカスト用油剤、熱間鍛造潤滑剤事業が寄与し売上高は堅調に推移しました。

（合成潤滑油）

自動車用電装部品のベアリング軸受用グリースの基油として世界的にシェアが高い高温用合成潤滑油は、中国を中心とする自動車生産が下支えとなり、前年同期並みの売上高となりました。ハードディスク表面潤滑剤は、高性能新製品の需要が一巡し、ほぼ前年同期並みの売上高となりました。

（素材）

流動パラフィン、ポリスチレン向けが国内生産の稼働率上昇にともなって増加した他、リチウムイオン電池のセパレータ生産向けも堅調に推移しました。また、金属加工油の添加剤として使用される石油スルホネートの売上高も、堅調な自動車生産に支えられ好調に推移しました。

（ホットメルト接着剤）

主力である大人用紙おむつなどの衛生材向けや粘着剤用途については、消費税増税の影響による駆け込み需要とその反動により、ほぼ前年同期並みの売上高となりました。また、自動車向けおよび空気清浄機フィルター用接着剤の売上高は堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は5,115百万円（前年同期比13.6%増）となり、セグメント利益は250百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

②中国

中国では、引き続き自動車生産台数の高い伸びに支えられ、ダイカスト用油剤、難燃性作動液等が前年同期の売上高を大きく上回った他、ホットメルト接着剤も堅調に推移しました。

当セグメントの売上高は577百万円（前年同期比26.6%増）となり、セグメント利益は76百万円（前年同期比171.6%増）となりました。

③東南アジア

政治情勢が依然不透明なタイでは、経済成長率が低下しているものの、日華化学㈱から譲り受けたダイカスト用油剤、熱間鍛造潤滑剤事業が売上高に大きく貢献しました。

インドネシアでは、ダイカスト用油剤や難燃性作動液等、特殊潤滑油の売上高は前年同期並みに推移したものの、子供用紙おむつ向けホットメルト接着剤の生産は順調に拡大しました。

当セグメントの売上高は890百万円（前年同期比70.7%増）となり、セグメント利益は113百万円（前年同期比532.1%増）となりました。

④北米

北米では、好調な自動車生産を背景に、自動車関連顧客向け販売が順調に推移するとともに、ダイカスト用油剤等の新規ユーザーの獲得等により売上高が増加しました。また、高温環境下で使用する合成潤滑油の需要も着実に拡大し、さらに日華化学㈱から譲り受けた熱間鍛造潤滑剤事業が売上高に大きく貢献しました。

当セグメントの売上高は163百万円（前年同期比136.2%増）となり、セグメント利益は23百万円（前年同期比806.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,483百万円増加し、21,140百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が941百万円、受取手形及び売掛金が404百万円、たな卸資産が204百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,351百万円増加し、9,820百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が483百万円、長期借入金が665百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて132百万円増加し、11,320百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、天津莫莱斯柯科技有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,724	2,665
受取手形及び売掛金	5,911	6,315
商品及び製品	2,048	2,110
原材料及び貯蔵品	1,230	1,371
その他	421	451
貸倒引当金	△38	△20
流動資産合計	11,296	12,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,195	1,238
機械装置及び運搬具(純額)	1,048	1,044
土地	2,425	2,427
その他(純額)	408	406
有形固定資産合計	5,077	5,114
無形固定資産		
のれん	1,238	1,206
その他	396	413
無形固定資産合計	1,634	1,619
投資その他の資産	1,650	1,515
固定資産合計	8,361	8,248
資産合計	19,657	21,140
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,443	4,925
短期借入金	1,082	1,061
未払法人税等	198	202
賞与引当金	397	218
その他	738	1,193
流動負債合計	6,858	7,598
固定負債		
長期借入金	1,156	1,821
長期未払金	64	63
退職給付引当金	268	222
その他	124	116
固定負債合計	1,612	2,221
負債合計	8,469	9,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,091	2,091
資本剰余金	1,951	1,951
利益剰余金	5,691	5,831
自己株式	△0	△0
株主資本合計	9,731	9,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65	60
為替換算調整勘定	358	295
その他の包括利益累計額合計	423	354
少数株主持分	1,033	1,094
純資産合計	11,187	11,320
負債純資産合計	19,657	21,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	5,321	6,439
売上原価	3,688	4,517
売上総利益	1,633	1,922
販売費及び一般管理費	1,245	1,448
営業利益	388	473
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	28	33
為替差益	103	22
その他	11	11
営業外収益合計	145	70
営業外費用		
支払利息	6	5
その他	5	3
営業外費用合計	11	9
経常利益	521	535
税金等調整前四半期純利益	521	535
法人税、住民税及び事業税	186	187
法人税等調整額	△25	△35
法人税等合計	161	153
少数株主損益調整前四半期純利益	360	383
少数株主利益	29	73
四半期純利益	331	310

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	360	383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	△5
為替換算調整勘定	207	△46
持分法適用会社に対する持分相当額	30	△21
その他の包括利益合計	255	△72
四半期包括利益	615	311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	522	241
少数株主に係る四半期包括利益	93	70

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,276	455	522	69	5,321	—	5,321
セグメント間の内部 売上高又は振替高	227	1	0	—	228	△228	—
計	4,502	456	522	69	5,549	△228	5,321
セグメント利益	321	28	18	3	370	18	388

(注) 1. セグメント利益の調整額18百万円には、セグメント間取引消去14百万円、たな卸資産の調整額3百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,814	575	890	159	6,439	—	6,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	301	2	1	3	307	△307	—
計	5,115	577	890	163	6,746	△307	6,439
セグメント利益	250	76	113	23	462	11	473

(注) 1. セグメント利益の調整額11百万円には、セグメント間取引消去11百万円、たな卸資産の調整額△1百万円および貸倒引当金の調整額1百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 製品およびサービスに関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年四半期比(%)
化学品事業	6,425	121.0
特殊潤滑油	2,872	125.7
合成潤滑油	596	99.5
素材	1,073	118.2
ホットメルト接着剤	1,582	128.1
その他	301	107.6
賃貸ビル事業	14	101.9
合計	6,439	121.0

(2) 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	1,872	230	27	2,129
II. 連結売上高(百万円)				6,439
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(百万円)	29.1	3.6	0.4	33.1

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール

北米……………米国、メキシコ

その他……………ベルギー

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。